

那覇バスターミナルから28・29番で75分  
 那覇空港-那覇バスターミナル間はタクシーバスとも約10分  
 バス 28番=約5分~15分間隔運行  
 29番=1日6往復運行  
 タクシー約55分  
 モノレールを利用 那覇空港駅から旭橋駅まで11分  
 乗り換えてバスで那覇バスターミナルの28番もしくは29番に  
 乗り、読谷村内リゾートホテルまで約1時間所要



**読谷村観光協会**  
 〒904-0323  
 沖縄県読谷村字高志保1020-1番地  
 電話098-958-6494  
 FAX098-958-6494

**読谷村建設経済部 商工課**  
 〒904-0392  
 沖縄県読谷村字慶喜味2901番地  
 www.yamitan.jp  
 E-mail info-syokoku@vil.yamitan.jp  
 電話098-982-9216(直通)  
 FAX098-982-9002

**読谷村商工会**  
 〒904-0304  
 沖縄県読谷村字楚辺2187番地  
 www.yamitan.or.jp  
 E-mail yamitan@yamitan.or.jp  
 電話098-956-4011  
 FAX098-982-8273



**世界遺産群の座喜味城跡**

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p><b>花木 イブイ</b><br/>                 ノウゼンカズラ科<br/>                 熱帯アメリカ産<br/>                 濃い桃色の花もあり、ブラジルの国花でもある。開花期間は1週間ほど短い。</p> | <p><b>村木 フクキ</b><br/>                 フリギリソ科<br/>                 オリビバ科<br/>                 海岸・崖地の防風林として代表的な沖縄の緑化樹。長生・取り木で増やす。黄色の実を揚げ、樹皮は黄色の染料として読谷山花織にも利用される。</p> | <p><b>村花 ブーゲンビレア</b><br/>                 オンシロバナ科<br/>                 ブラジル産<br/>                 それこそ多くの花色と品種があり、読谷では赤と紫が代表的な色。半つ性でトゲがなく、成熟した枝を挿し木してふやす。</p> |
|--|---|---|

農水産物・特産品

**砂糖キビの刈り入れ**  
 野国産管(北谷間野国村出身-現在の嘉手納町野国)は、イモ(甘藷)を中国より持ち帰り、備前産の厚皮イモと交配して改良された品種で、現在から優れた思入として名高い。そのことを称えるために読谷には喜名・長根・親志・吉野などに石碑が建てられている。

**ふかし紅イモ**  
 読谷は紅イモの産地である。沖縄県の農林水産物戦略品目指定高産地にも指定されている。紅イモは甘藷の品種をさしているのではなく、皮が赤く中身が紫の甘藷は「宮島36号」、皮が白く中身が紫は「蘭潮」をさす。他に「神夢夢」などがありこれらを総称して紅イモとよんでいる。「毎月16日はイモの日」と定め、読谷紅イモの振興を図っている。また、戦前、戦中、戦後の食糧難の時代に沖縄における常食作物として重要であった甘藷の品種「佐久川イモ」を育種した本村出身の佐久川清助氏の功績を称えた「佐久川イモ発祥の地」碑がある。さらに、紅イモの消費拡大、販売促進を目指すために、平成18年に「読谷紅イモ認証ロゴマーク」を確立しました。

**読谷漁協の特産品**  
 泡盛残液、チップス・ようかん・サータアンダギー・カトルなどの紅芋菓子、読谷山花織、郷土料理レトルトパック、読谷山花織、琉球ガラス

読谷村には、沖縄を代表する特産品が多い。地産地消を推進する紅芋菓子、とうがんパン、野菜スイーツ等、地域の特産物をバックしたレトルト食品・銘酒の産地残液・黒糖・かまぼこ・陶器・琉球ガラス・読谷山花織などがお土産に最適。

文化・まつりイベント

**読谷まつりと創作「進貢船」**  
 毎年11月の第1週土曜・日曜に読谷まつりが開かれる。1372年読谷山(ゆんたんざ)の奉納若者達に乗った進貢船が出帆。これが琉球王国と大國・中国の新しい文化や文物を満載し、読谷の歴史を語り継ぐ。読谷まつりと創作「進貢船」は、読谷の大観衆が一体となり、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりのフィナーレとして百景の読谷まつりパレードが行われ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。

**読谷まつりと古典芸能**  
 青年エイサーまつり  
 読谷村内各青年会が一同に会するイベント。沖縄の夏を彩る代表的なエイサーは、伝統的な盆行事として取り組まれている。各々が特色ある衣装を身にまとい、男壮に踊る。

**読谷まつりと創作「進貢船」**  
 読谷まつりと創作「進貢船」は、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。

**読谷まつりと創作「進貢船」**  
 読谷まつりと創作「進貢船」は、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。

歴史・名所

**木綿原遺跡(もめんばるいせき)**  
 沖縄に歴史があったという最初の証として、神代貝層時代の7層の「箱式石棺墓」と17体の土人骨が出土した。各々の石棺には複数の遺物が納められ、4層の石棺から13体の被葬者が確認された。棺内の遺物は、神葬による埋葬法がとられ、骨の上には厚紙が敷きつけられていた。当時の人々の死者に対する精神生活が垣間見ることができ。

**尚巴志王三代の墓**  
 琉球王尚巴志とその子尚忠(しょうちゅう)、またその子尚思達(しょうしやうた)3人の王名が刻まれている。金丸(第二尚氏の始祖)によって第一尚氏滅び、その一族が遺骨を運び出し、ここに建てたとされている。

**座喜味城跡**  
 平成12年12月2日に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として登録された。15世紀のはじめに読谷山坂向・浦佐丸により築城され、切石積みで造られている連立式の城。アーチ型の石門としては、最古とも言われている。城壁が迫り出す曲線は均整がとれ、読谷村でも最も小高い丘に立地する形状は、最大で自由奔放に美しく、当時の最高な石造技術が凝縮されたことが伺われ、歴史との対話が可能な空間でもある。第二次大戦の時には、日本の放射線基地が置かれ、戦後は一時アメリカ軍のレーダー基地であった。一番高い城壁に上り、あたりを見回すと美しい景色を眺めることが、高い山からの眺めも、素晴らしい風景が広がっている。

**喜名番所観光案内所**  
 「神龍海軍電信防務所」を記念する石碑で、昭和63年6月に喜名番所関係者有志で建てられた。明治29年鹿児島・神龍間に海底電信が敷設され、ここ喜名番所に設けられた。那覇とは架空電線が通じられ、沖縄における電信線のはじめになった。

**電信屋の碑**  
 「神龍海軍電信防務所」を記念する石碑で、昭和63年6月に喜名番所関係者有志で建てられた。明治29年鹿児島・神龍間に海底電信が敷設され、ここ喜名番所に設けられた。那覇とは架空電線が通じられ、沖縄における電信線のはじめになった。

自然・風物

**比謝川**  
 比謝橋は読谷村と嘉手納町の境に架けられた橋で、比謝川周辺が風光明媚であったことや石橋になってから交易が活発になった。比謝橋碑文にはそうした経緯が記されている。

**比謝橋**  
 比謝橋は読谷村と嘉手納町の境に架けられた橋で、比謝川周辺が風光明媚であったことや石橋になってから交易が活発になった。比謝橋碑文にはそうした経緯が記されている。

**残波岬岬と森時モニュメント**  
 読谷村の歴史を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。

**残波岬岬と森時モニュメント**  
 読谷村の歴史を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。読谷まつりパレードでは、沖縄の伝統文化を盛り込んだ、読谷の歴史や文化を語り継ぐ。

観光・エコツーリズム・体験・平和学習

**読谷村文化体験施設**  
 読谷村には、沖縄を代表する特産品が多い。地産地消を推進する紅芋菓子、とうがんパン、野菜スイーツ等、地域の特産物をバックしたレトルト食品・銘酒の産地残液・黒糖・かまぼこ・陶器・琉球ガラス・読谷山花織などがお土産に最適。

**交流体験館・海の家**  
 読谷村には、沖縄を代表する特産品が多い。地産地消を推進する紅芋菓子、とうがんパン、野菜スイーツ等、地域の特産物をバックしたレトルト食品・銘酒の産地残液・黒糖・かまぼこ・陶器・琉球ガラス・読谷山花織などがお土産に最適。

**残波ゴルフクラブ**  
 電話(098)958-1938

**アロハゴルフセンター**  
 電話(098)958-3527

**クイーンズストラップ**  
 電話(098)921-5577

**ネイチャーワークス**  
 電話(098)927-2277

**読谷村漁協**  
 電話(098)956-1640

**特設観音洞窟群**  
 太平洋戦争時に海上特攻隊は、ベニヤ板づくりの小さな舟に身を積み、敵艦に体当たりする戦艦をとり、その敵艦に突撃するようになった。151名の乗組員が陣没した。この洞窟は、戦艦の残骸が沈んでいる。戦艦の残骸が沈んでいる。戦艦の残骸が沈んでいる。

**シムクガマ**  
 天然の鍾乳洞で、洞窟は250mの長さがある。1945年(昭和20年)3月、米軍の住民約1000人は米軍の進軍でこの洞窟に避難するようになった。151名の乗組員が陣没した。この洞窟は、戦艦の残骸が沈んでいる。戦艦の残骸が沈んでいる。戦艦の残骸が沈んでいる。

**宿泊 飲食店 社交業**

**ホテル日航読谷ビル**  
 www.alivila.co.jp

**沖縄残波岬ロイヤルホテル**  
 www.daiwaresort.co.jp/okinawa

**日航初級ホテル**  
 www.morimar.com

**モリマリゾートホテル**  
 www.morimar.com

**ホテル読谷島**  
 www.daiwaresort.co.jp/okinawa

読谷を代表する大型のリゾートホテルや個性的な宿泊施設がある。非日常の空間でホテルシーンを満喫しよう。ビーチに隣接したホテルではマリンスポーツも楽しめます。

**読谷村の飲食店**  
 読谷村には、沖縄を代表する特産品が多い。地産地消を推進する紅芋菓子、とうがんパン、野菜スイーツ等、地域の特産物をバックしたレトルト食品・銘酒の産地残液・黒糖・かまぼこ・陶器・琉球ガラス・読谷山花織などがお土産に最適。